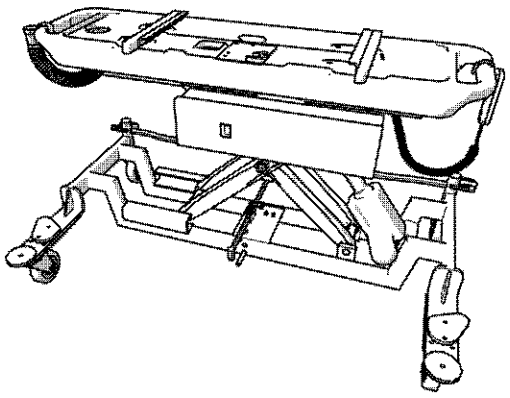
エレベートバス（CET-100）用

SAKAImed

高さ調節式ストレッチャー

EST－１００

取扱説明書



ご使用になる前に

安全上のご注意 …… 2
各部の名称 …… 7
始業点検について …… 9
組み合わせ …… 11

操作方法

高さ調節式ストレッチャーの移動 …… 12
キャスターのロック …… 13
水受盤 …… 14
浴槽への連結操作 …… 15
解除ペダル …… 15
担架スライド防止機構について …… 15
高さ調節式ストレッチャーの上昇・下降 …… 16
バッテリーの容量確認 …… 17
バッテリーの脱着 …… 18
バッテリーの充電 …… 19

このようなときは …… 20

清掃 …… 21

機器について

保守・点検 …… 22
保証とアフターサービス …… 22
仕様 …… 24

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-196①M7

用 途

本製品は、当社浴槽『エレベートバス』(CET-100)と『担架』（EWS-100）と組み合わせて使用する高さ調節式ストレッチャーです。組み合わせて使用することで、入浴作業（搬送）を安全に効率よく行うことができます。

特 長

- **入浴者の移乗がしやすい高さ調節式。**
  担架面高さが 450～730 ㎜に調節できるのでトランスファーの労力を軽減します。
- **浴槽に接近しやすい薄型の水受盤。**
  水受盤やパンタグラフ部を含めた上部の構造を薄型化することで、浴槽縁から 370 ㎜まで近づくことが可能なため、介助者の動線確保、省スペース化を実現。
- **担架脱落防止機構。**
  浴槽に連結しないと担架のロックがはずれない安全設計です。
- **大型キャスターの採用**（後側の２輪キャスター）
  軽い操作力でスムーズな移動が可能です。
- **２輪トータルロック式。**
  左右どちらかのペダルを踏むことで、２ 輪を同時にロックしますので、ロック操作時の省力化を図っています。（ストッパー側の２輪）

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

⃠ 禁止	行為を禁止することを示した表示です。
❗ 強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

ご使用になる前に／安全上のご注意

昇降・移動・連結

⚠警告

上昇・下降操作は、周囲の安全を確認してから行うこと

上昇・下降による挟み込み等事故につながる恐れがあります。浴槽や移動用ストレッチャー等から離れたところで行ってください。

以下の時はキャスターを必ずロックすること

- **担架上で介助作業（移乗、洗身、洗髪等）をするとき**
- **ストレッチャーを移動した後**
- **ストレッチャーを昇降させるとき**
- **バッテリーを脱着させるとき**

ロックをしていないと、ストレッチャーが動き出し、事故の原因になります。

ストレッチャーを浴槽に連結させるときは、ストレッチャーを上限まで上昇させること

上限まで上昇させていないと、担架が浴槽に当たり、浴槽や担架が破損する恐れがあります。

ストレッチャーを浴槽に連結させるときは、浴槽と平行にすること

・ストレッチャーが傾いていると、最後まで押し込めない状態になります。

ストレッチャーを浴槽へ連結後、連結完了ランプの点灯を確認すること

連結が不十分だと、担架の脱落などの原因になります。

連結ロック解除後は、速やかに解除ペダルから足を離すこと

踏み続けたり体重を乗せたりすると、ストレッチャーが傾いたり、転倒する恐れがあります。

ストレッチャーを移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意すること

キャスターが隙間に挟まると、ストレッチャーが傾いたり、転倒する恐れがあります。

⚠注意

ストレッチャーの案内円盤がストレッチャーガイドの範囲内にくるように移動してから、ストレッチャーを浴槽に最後まで押し付けること

ガイドの範囲以外で押し付けると、担架が浴槽に当たり、担架や浴槽が破損する恐れがあります。

ストレッチャーを移動するときは、ゆっくり移動すること

入浴者に恐怖感やショックを与えないようにし、またけが等を発生させないよう入浴者の状態と周囲の状況に十分注意して移動してください。

ストレッチャーを移動するときは、段差や傾斜に注意すること

ストレッチャーの低位置にある機構部が、段差や傾斜部に接触しないよう注意してください。

担架がストレッチャー、又は浴槽にロックされたことを確認するまで解除ペダルを踏まないこと

万一の担架脱落事故を防止します。

ストレッチャーを浴槽へ連結させるときは、ストレッチャーの向きに注意すること

ストレッチャーは、設置時に設定した側しか接続できません。

水受盤

⚠注意

水受盤には、重いものは載せないこと

重量物を乗せたり、腰をかけると破損やけがの原因になります。

リモコン、排水ホースを使用しないときは、水受盤の手すりに掛けておくこと

水受盤の手すりに掛けていないと落下したり、昇降の際にフレームに挟み込む恐れがあります。

バッテリーの交換作業

⚠警告

電極を濡らさないこと

感電等を避けるため、濡れた手でバッテリーの脱着作業をしないでください。

電極に触らないこと

感電の恐れがあります。

バッテリー脱着時以外は、コントロールユニットのフタを閉めること

バッテリーカバー内に水がかかると漏電の恐れがあります。

⚠注意

乾燥した場所で交換作業をすること

漏電等を避けるため、浴室や湿気の多い場所で作業しないでください。

交換作業をするときは必ずキャスターをロックすること

平らな場所に停止させ、ストレッチャーが動かないようロックしてください。

始めて使用するときは、バッテリーを充電すること

出荷前に充電されていますが、必ず使用前に充電してください。

バッテリー交換後、バッテリーカバーを取り付けること

バッテリーに水がかかりますと感電の恐れがありますので、バッテリー交換後は必ずカバーを付けてください。

コントロールユニットの上に水がある場合は、拭き取ってからフタを開くこと

バッテリーに水がかかりますと感電の恐れがあります。

バッテリーの充電

⚠警告

付属の専用充電器以外は使用しないこと

バッテリーの充電性能や寿命に悪影響を与える恐れがあります。

⚠注意

一日の入浴作業終了後は、満充電（100%）まで充電すること

充電が不十分だとバッテリーの寿命が短くなるので、黄の表示灯(CHARGE)が消灯するまで行なってください。

バッテリーの残り容量を必ず確認こと

容量表示が 25%(コンセントマーク表示)になったら充電してください。

表示が 25%より少なくなると充電ができなくなります。

乾燥した場所で充電及び保管すること

漏電等を避けるため、浴室や湿気の多い場所で充電器を使用しないでください。使用後は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。

長期間使用しない場合でも、1 か月に一度は充電すること

バッテリーは自然放電するので使用しない場合でも充電が必要です。

長期間使用しない場合は、バッテリーを機器から外しておくこと

放電量を抑えることができます。

充電中は充電器の表面温度に注意すること

充電中は表面が 50℃位まで上がりますので、やけどに注意してください。

電源プラグを抜くときはプラグの根元を持って抜くこと

充電器のコードを引っ張って抜くと断線し、感電やショートを起こし発火する恐れがあります。

バッテリーを脱着するときや持ち運ぶときは、落とさないように注意すること

足の上に落とすことにより、けがをする恐れがあります。

その他

⚠注意

水受盤に溜まった水は、排水ホースより排水すること

排水させないとストレッチャー移動時にこぼれて床が濡れたり、水が腐る恐れがあります。

濡れた状態で搬送用ストレッチャーとして使用しないこと

水滴を廊下に落とす等して、事故を引き起こす可能性があります。

解除ペダルやキャスターストッパーには無理な荷重をかけないこと

ペダルのフレームが変形したり破損する恐れがあります。

次亜塩素酸ナトリウムをストレッチャーに直接かけないこと

脱色、変色、破損の原因になる恐れがあります。

バッテリー残量インジケーターは、使用環境により窓部が曇る恐れがあります

入浴介助前に満充電のバッテリーをご使用ください。また始業前点検時にバッテリー残量を確認されることをお勧めします。

コントロールユニットに故意に水をかけないこと

カバー内に水が侵入すると電気系統の故障の原因になります。

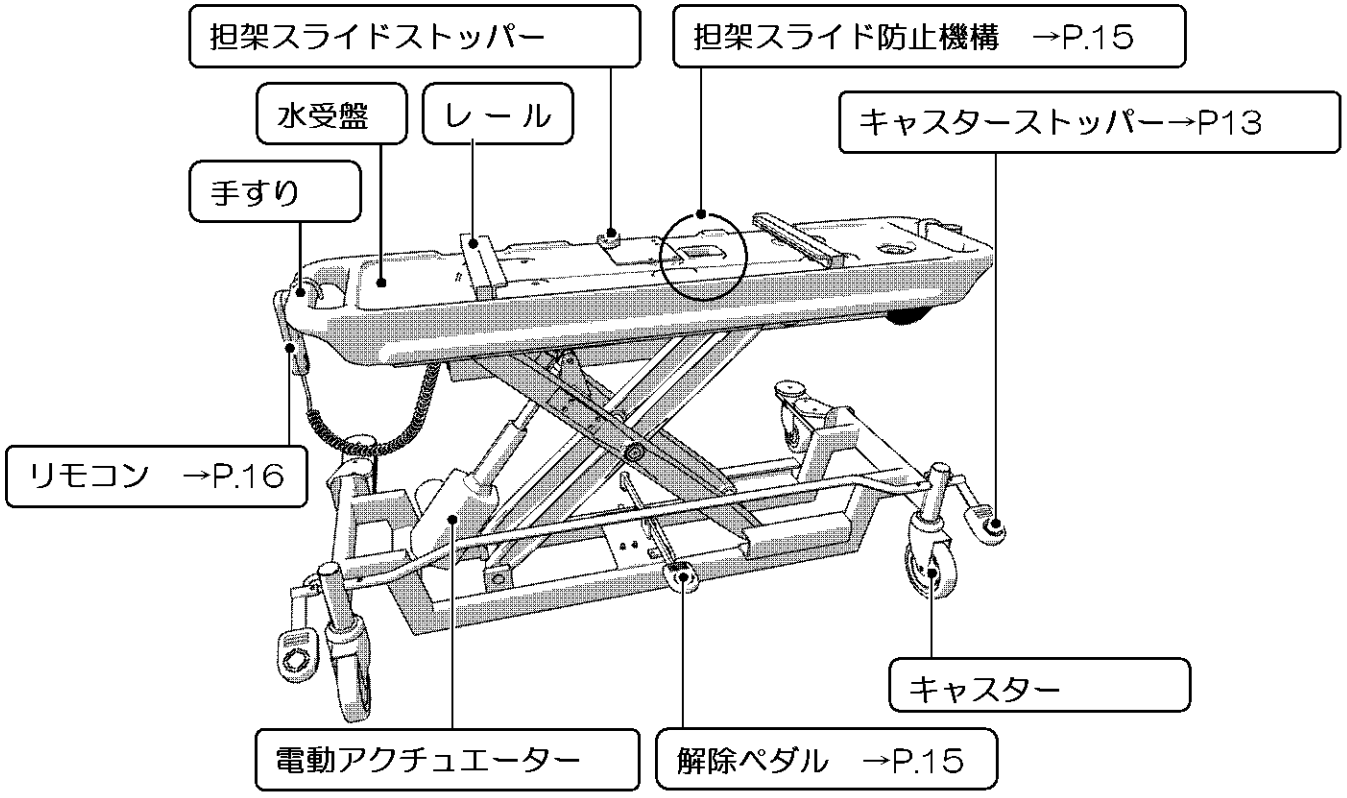
リモコンスイッチの扱いに注意すること

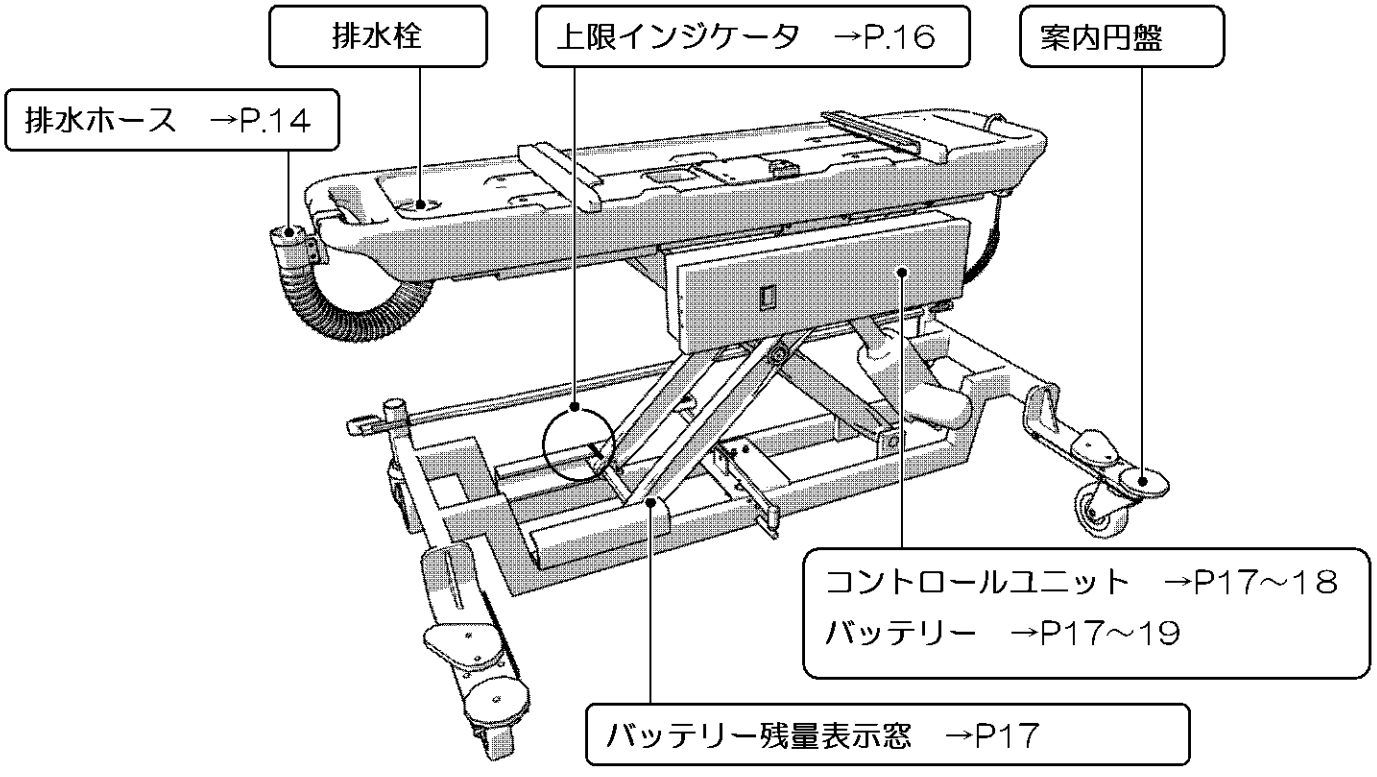
・床に落としたり足で踏んだりすると故障の原因になります。

・コードを強く引っ張らないでください。断線の原因になります。

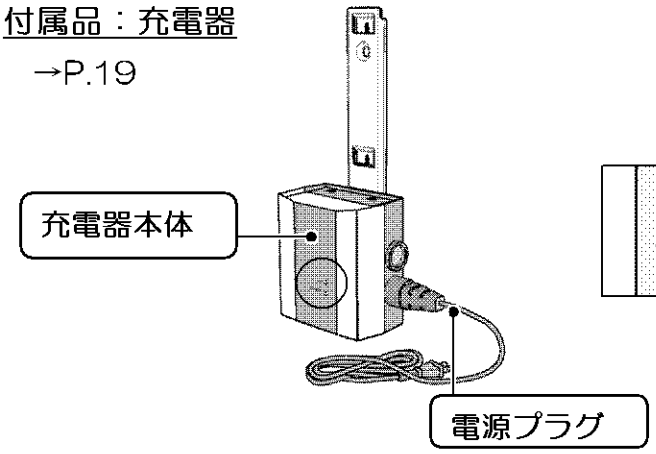
ご使用になる前に

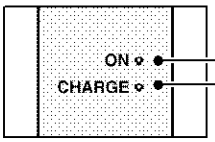
各部の名称





付属品：充電器
→P.19





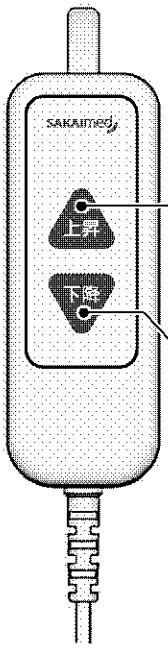
ONランプ 【緑】

点灯…電源ＯＮ
消灯…電源ＯＦＦ

CHARGE ランプ【黄】

点灯…充電中
消灯…充電完了

リモコン



上昇ボタン　→P.16

ボタンを押している間、ストレッチャーが上昇します。

下降ボタン　→P.16

ボタンを押している間、ストレッチャーが下降します。

ご使用になる前に

始業点検について

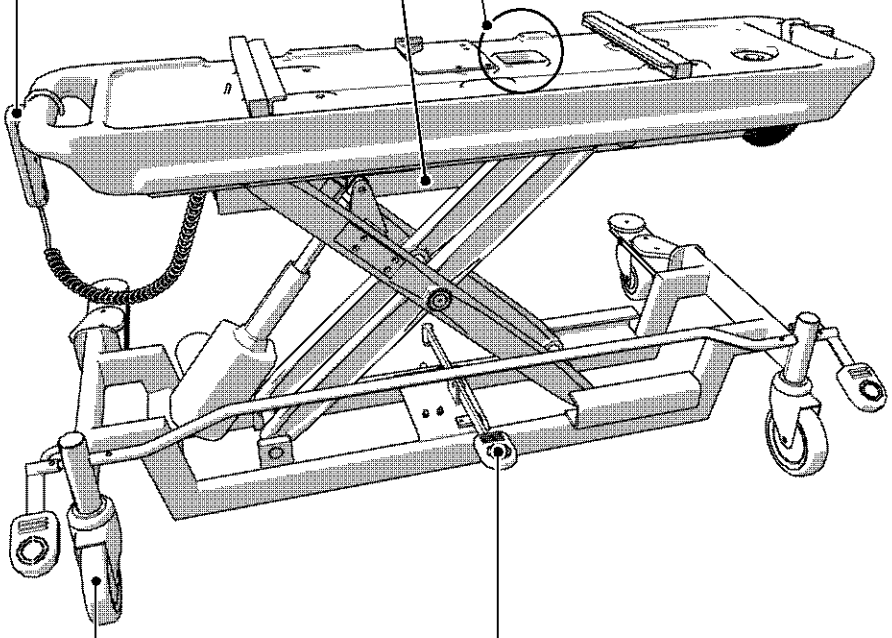
ご使用前に下記の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。

①周囲に障害物はありませんか？

②担架スライド防止機構は作動しますか？

③バッテリー容量は十分ですか？

④昇降動作は正常にできますか？



⑤キャスターのロックは確実にできますか？

⑥キャスターの緩み、ガタつき、抜け出しはありませんか？

⑦キャスターの車輪の磨耗はありませんか？

⑧解除ペダルは水平に戻りますか？

点検の際は、本ページをコピーしてご使用ください。

始業点検チェックリスト：

高さ調節式ストレッチャー（EST-100）

点検日　　年　　月　　日

項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
①	障害物の有無	目視	□OK・□ NG	
②	担架スライド防止機構	・浴槽に連結させない状態で担架のロック解除レバーを握り、担架が少し移動して止まることを確認。確認後、ロック解除レバーから手を離し、担架を元の位置に戻し、押し引きしてロックを確認	□ OK・□ NG	
③	バッテリー容量表示の確認	目視 **容量表示が 25%（コンセントマーク表示）になったら、必ず充電してください。**	□ OK・□ NG	(P.17 参照)
④	昇降動作	担架を載せた状態でリモコンスイッチを押し、昇降時の動作及び異音の有無を確認	□ OK・□ NG	
⑤	キャスターのロック作動	キャスターストッパーをロック方向に踏んでキャスターの回転と首振りのロックを確認	□ OK・□ NG	(P.13 参照)
⑥	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し	目視及び、触って確認	□ OK・□ NG	
⑦	キャスターの車輪の摩耗	目視	□ OK・□ NG	
⑧	ペダルの作動	・ストレッチャー単独で左右の解除ペダルを踏んで戻し、ペダル上面がほぼ水平になるかどうかを確認	□OK・□ NG	

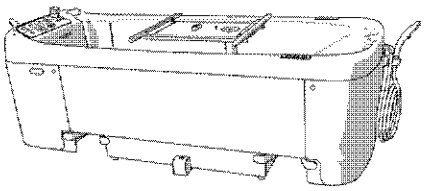
またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、バッテリーを抜いて、最寄りの営業所にご連絡ください。尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

ご使用になる前に

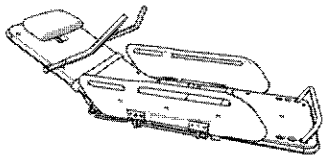
組み合わせ

周辺装置（別売り）

浴槽（エレベートバス）・・・ＣＥＴ-100



担架　　・・・ＥＷＳ-100



操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

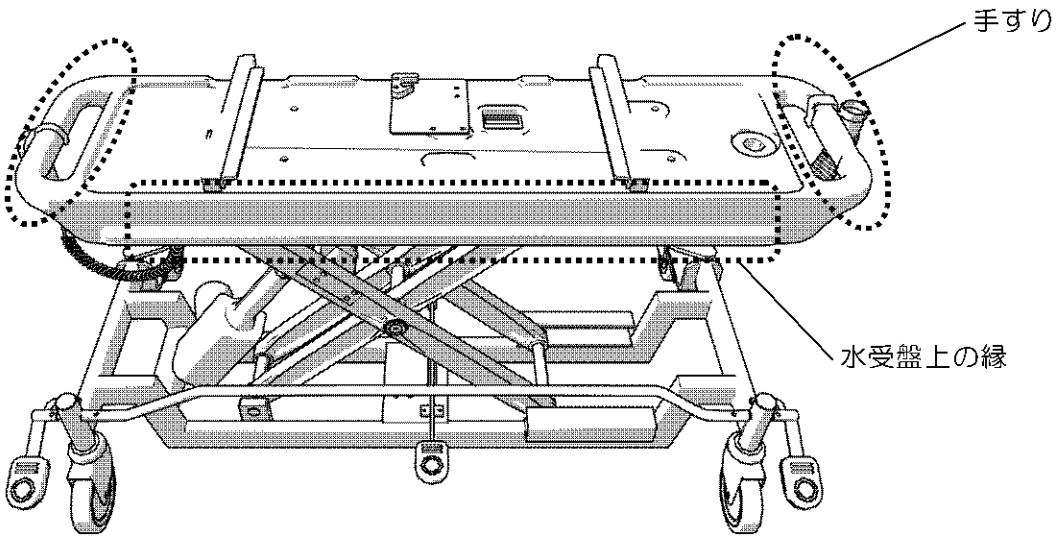
浴槽との連結・解除操作に関連する事項は、浴槽（エレベートバス）取扱説明書の「入出浴作業」をご覧ください。

操作方法

高さ調節式ストレッチャーの移動

担架が載っていない高さ調節式ストレッチャーを移動するとき
高さ調節式ストレッチャー水受盤の手すりを持って
移動します。

担架が載っていない高さ調節式ストレッチャーを浴槽から切り離すとき
水受盤の縁をつかんで手前に引きます。

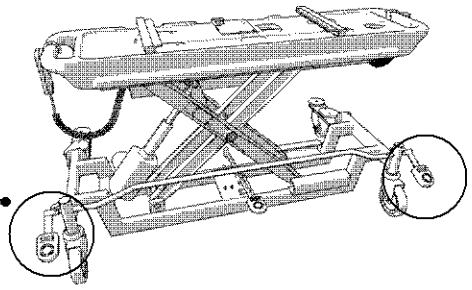


⚠ **注意　高さ調節式ストレッチャーを移動するときは、段差や傾斜に注意すること**

操作方法

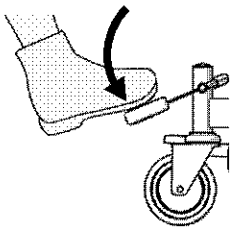
キャスターのロック

キャスターのロックは２か所のキャスターストッパーで行います。



ロック

２か所のキャスターストッパーのどちらかを踏みます。

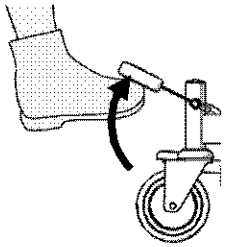


・ストッパー側の２輪が同時にロックします。

> ⚠ 警告　**以下のときは、キャスターを必ずロックすること**
> **・担架上で介助作業（移乗、洗身、洗髪等）をするとき**
> **・高さ調節式ストレッチャーを移動した後**
> **・高さ調節式ストレッチャーを昇降させるとき**
> **・バッテリー脱着**

解除

２か所のキャスターストッパーのどちらかを足で軽く持ち上げます。



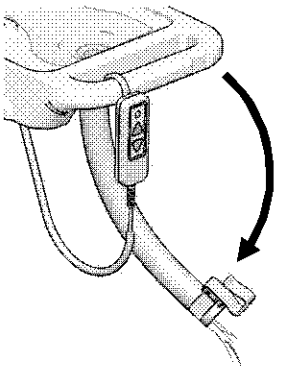
・ストッパー側の２輪が同時にロック解除します

操作方法

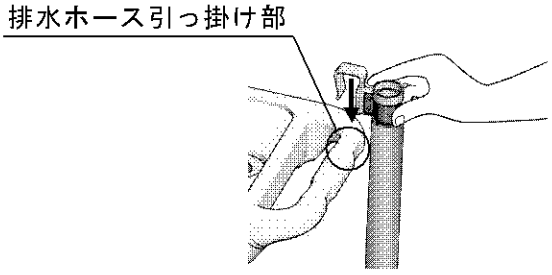
水受盤

水受盤上の水の排水

1. 水受盤にたまった水を抜くには排水ホースを下ろして排水してください。



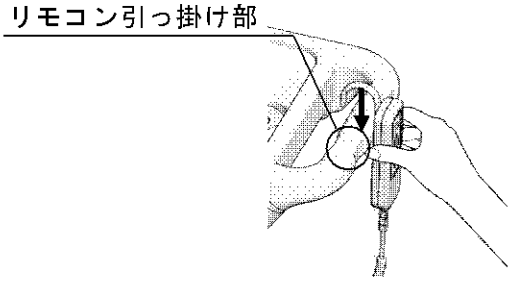
2. 排水が終わったら排水ホースを必ず手すりに掛けておいてください。



⚠ 注意　・排水ホースは、排水時以外はハンドルにかけておくこと
・洗髪、洗身は、排水しながら行うこと

リモコンについて

1. リモコンを使用しない時は、水受盤の手すりに掛けておいてください。



⚠ 注意　・リモコンは、操作時以外はハンドルにかけておくこと
・水受盤には、重いものは載せないこと

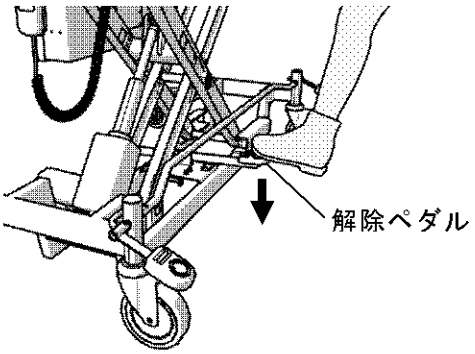
操作方法

浴槽への連結操作

浴槽との連結操作につきましては、浴槽（CET-100）の取扱説明書「入出浴作業　ストレッチャーを浴槽へ連結させる」をご覧ください。

解除ペダル

浴槽との連結を解除する際には、解除ペダルを踏んでください。
詳しい操作方法については、浴槽（CET-100）の取扱説明書「入出浴作業　ストレッチャーの連結解除」をご覧ください。



担架スライド防止機構について

担架スライド防止機構とは、担架の落下を防止するための機能です。

以下の機構的な制限をすることで、誤操作や意図しない動きを防止し、安全性を高めています。

ご注意

・高さ調節式ストレッチャーを浴槽に連結していない状態で、担架をスライド（移動）させることはできません。
・高さ調節式ストレッチャーを浴槽に連結して、担架を浴槽の反対側（浴槽と離れる方向）にスライド（移動）させることはできません。

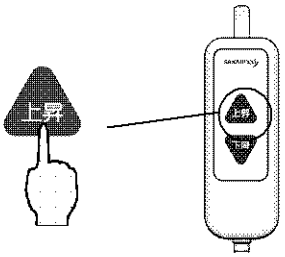
操作方法

高さ調節式ストレッチャーの上昇・下降

上昇

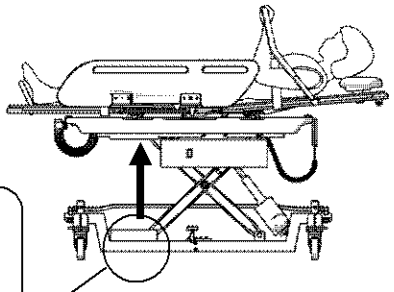
1. リモコンスイッチの上昇スイッチを押すとストレッチャーが上昇します。

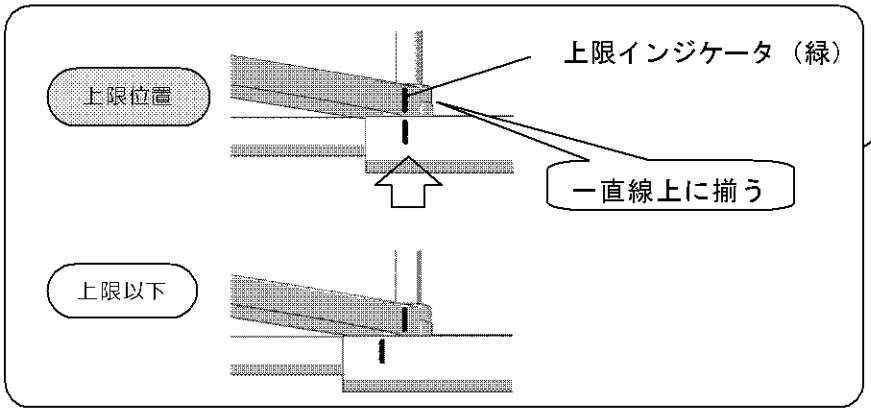
・上昇スイッチから指を離すと停止します。



2. 上昇スイッチを押し続けると、ストレッチャーは上限まで上昇します。

・上限位置は、担架を移動できる高さ(浴槽レールと同じ高さ)です。

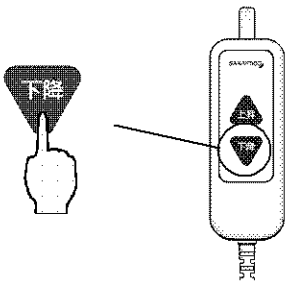




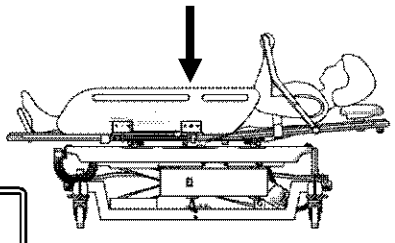
下降

1. リモコンスイッチの下降スイッチを押すとストレッチャーが下降します。

・下降スイッチから指を離すと停止します。



2. 下降スイッチを押し続けると、担架面の高さが地面から約 450㎜ の高さで自動停止します。

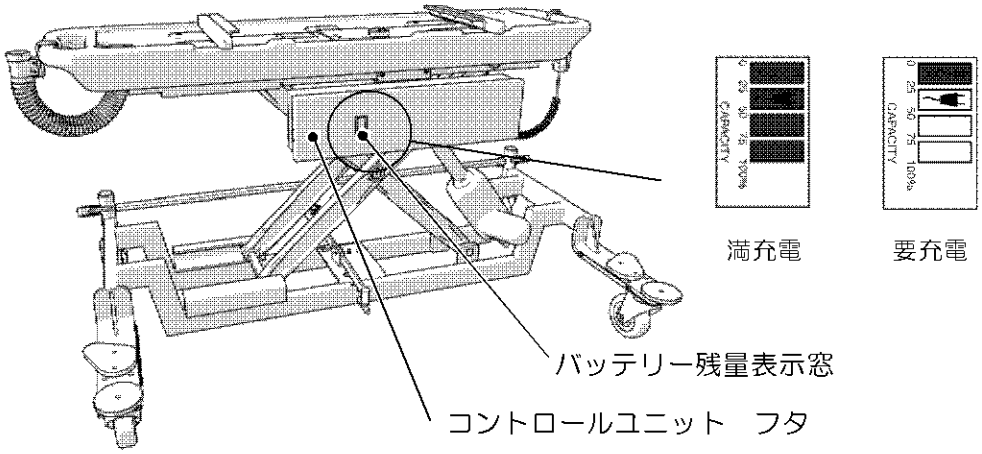


⚠警告　上昇・下降操作は、周囲の安全を確認してから行うこと

操作方法

バッテリーの容量確認

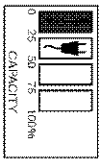
1日の入浴作業前、作業後に、コントロールユニットの表示窓から、バッテリー容量を確認してください。



注意　バッテリーの残り容量を必ず確認すること

容量表示が25%(コンセントマーク表示)になったら必ず充電してください。

表示が25%より少なくなると充電ができなくなります。

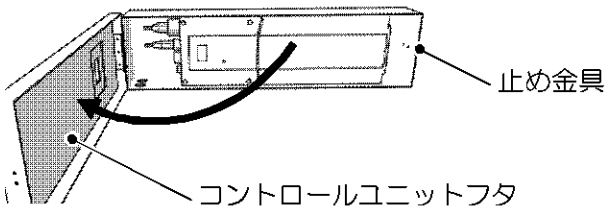


操作方法

バッテリーの脱着

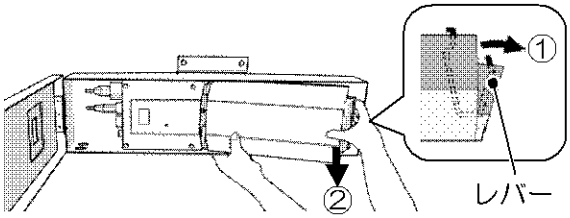
取り外し

1. コントロールユニットの止め金具を外し、フタを開きます。

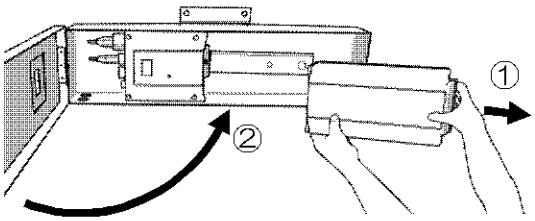


⚠注意　コントロールユニットの上に水がある場合は、拭き取ってからフタを開くこと

2. バッテリーのレバーを握り、そのままバッテリーを手前に引き出します。

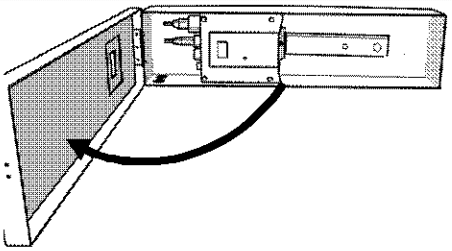


3. バッテリーを取り出し、コントロールユニットのフタを閉めます。

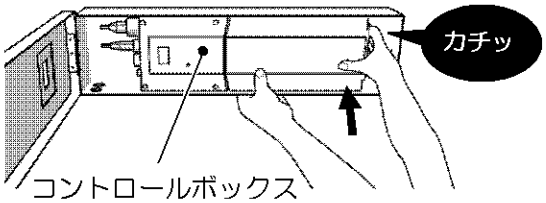


取り付け

1. コントロールユニットの止め金具を外し、フタを開きます。

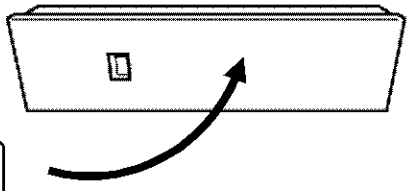


2. バッテリーをコントロールボックス側に差し込み、→の方向に押し付けて取り付けます。



3. コントロールユニットのフタを閉め

止め金具を止め金具を閉めます。

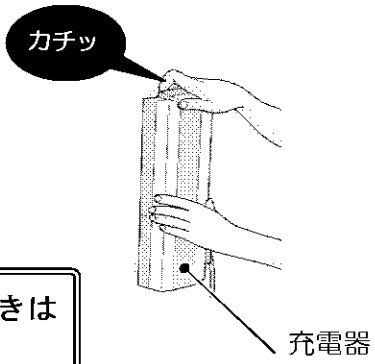


⚠警告　濡れた手で交換作業を行わないこと

操作方法

バッテリーの充電

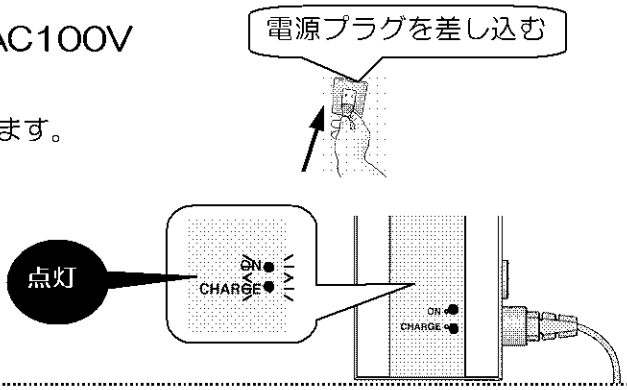
1. 高さ調節式ストレッチャーから取り外した
バッテリーを専用充電器に取り付けます。



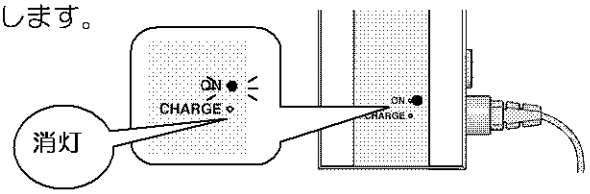
> ⚠ **注意　バッテリーを脱着するときや持ち運ぶときは落とさないように注意すること**

2. 充電器の電源プラグをアース付 AC100V
コンセントに差し込みます。

・ON の緑 LED と CHARGE の黄 LED が点灯します。



・充電が完了すると、CHARGE の黄 LED が消灯します。



3. 充電完了後は充電器の電源プラグを
AC100V コンセントから抜きます。

> ⚠ **注意　・一日の入浴作業終了後は、満充電（100%）まで充電すること**
> **・電源プラグを抜くときは、プラグの根元を持って抜くこと**

参考　・容量表示が 25%（コンセントマーク表示）から満充電までは、約 4 時間かかります。
・1 回の充電で約 50 回の昇降が可能です。

このようなときは

まずは次の内容を確認していただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください
キャスター	キャスターがロックできない	●異物を挟み込んでいませんか？ →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。
	キャスターが動かない	●キャスターストッパーが踏まれた状態でロックされていませんか？ →キャスターストッパーを上げ、キャスターのロックを解除してください。
	高さ調節式ストレッチャーが動いてしまう	●キャスターストッパーが確実にロックされていますか？ →キャスターストッパーを最後まで踏んで、キャスターをロックしてください。
昇降動作	上昇スイッチを押しても動かない	●バッテリー容量は十分ですか？ →充電を行ってください。 （充電については P.19 参照）
		●上限位置に達していませんか？ →上限位置では自動停止するため故障ではありません。
	下降スイッチを押しても動かない	●下限位置に達していませんか？ →下限位置では自動停止するため故障ではありません。
	充電したのに動かない	●バッテリーはきちんと装着されていますか？ →バッテリーを装着し直してください。
	昇降中に変な音がする	●電動アクチュエーター又は機械的トラブル →最寄りの営業所にご連絡ください。

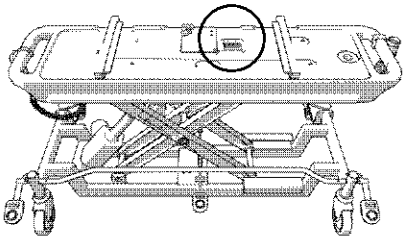
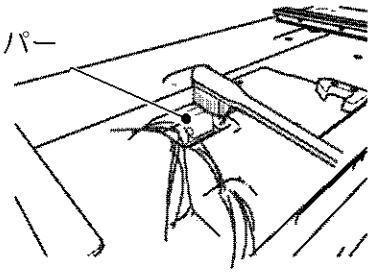
・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。

・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

日常のお手入れ

清掃

清掃は下記の方法で行ってください。

部品名	清掃方法
水受盤	浴槽用の中性洗剤で洗浄し、よく水で洗い流してください。 ※汚れがひどい場合は、市販の液体クレンザーをご利用ください。 水で洗い流した後は、乾いた布で水滴を拭いてください。
フレーム部 (ステンレス部)	ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。 乾いた布で水滴を拭いてください。
担架スライド防止機構	ストッパー部に髪の毛等のゴミが絡まっていた場合は、歯ブラシ等でキレイに取り除いてください。  ストッパー 
電動アクチュエーター	乾いた布で軽く拭く程度にしてください。 ※故意に水をかけないでください。

機器について

保守・点検

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が P.9～10 の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。

・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。

・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めいたします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

・保証書(別添)は再発行致しませんので紛失されないよう大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。

・保証期間は 1 年です。但し本体フレームは 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。

機種名　：　*EST-100*

お買い上げ：　　年　月　日

故障状況(できるだけ詳細に)

住所、氏名、電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解しないでください。

耐用期間

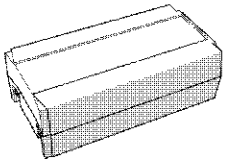
10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

機器について

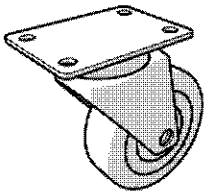
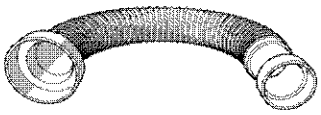
損耗品　（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。

・

バッテリー


・正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。

キャスター	排水ホース
	

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕様

名　　称		高さ調節式ストレッチャー
型　　式		EST-100
外形寸法		1264(Ｌ)×718(W)×404～684(Ｈ)mm
質　　量		約 85 kg
電　　源		DC24V　2.9Ah（バッテリー仕様）
最大搭乗質量(入浴者)		100 kg
材質	フレーム	ステンレススチール（一部粉体塗装仕上）
	水受盤	プラスチック（ポリプロピレン）
駆動方式		電動アクチュエーター式
キャスター		前輪φ１００mm・後輪φ１２５mm（２輪トータルロック付）
付属品		リモコンスイッチ、バッテリー（１個）、充電器
その他		担架スライド防止機構、浴槽接続検出機能、排水ホース

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。